モーニングゼロ MORNING ZERO 2016 9月期 結果発表!!

佳作2本!! 奨励賞3本!! 期待賞7本!! 計12本が受賞!!

5本が掲載デビュー!!

佳作

◎30万円＋モーニング50号(今号)掲載＋公式サイト「モアイ」に掲載

『皇帝陛下の蝋人形師』

32ページ かやま ゆう(東京都・33歳)

あらすじ 神聖ローマ帝国皇帝ヨーゼフ2世はお忍びで訪れたパリで蝋人形師と出会う。求められるままモデルになった彼は、思いがけない発見をする。

選評

知的好奇心をくすぐられながら作品世界を旅してしまう。そんな面白さがありました。硬質な絵、抑え気味の演出も作品の雰囲気に合っていました。無理してキャラクター中心の漫画にする必要はありませんが、次の作品はどこかに人間ならではの暑苦しさや不思議さをしっかりと描いてほしいと思いました。(宍倉)

最後のネームを読み終わった時、「面白い!」と思わず声をあげてしまった。映画を1本読み終わったかのような読後感。今回の投稿作の中で「大人が楽しめるエンタメ部門」があったとしたら、この作品がピカイチだったと思う。人物の表情が硬く感じられたので、しなやかな線で人物を描けるように練習してもらいたい。(上田)

なじみのない世界にもかかわらず、感情移入して読めました。非常に良く練られた作品だと思います。一方で、キャラクターの造形や、表情の硬さが気になりました。雑誌に掲載されたときに、埋もれてしまう可能性があります。好きな俳優など、実在の人物を描く練習をしてみると良いのではないでしょうか。(高橋)

佳作

◎30万円＋モーニング50号(今号)掲載＋公式サイト「モアイ」に掲載

『自殺しちゃったともだち』

17ページ 堀たまき(住所・年齢は非公表)

あらすじ 中学の同級生が自殺した。そいつのことは嫌いだった。だから、悲しくはないはずなのに—。どうして涙が溢れて来るんだろうか—?。

選評

明るいとは言えないエンディングでしたが、不思議と不快感はありません。作者が自分の作品に対して良い距離感を持っている。それが理由のように思います。読者が存在してはじめて成立する漫画にとってこの客観性は武器です。次はもう少し長い、読者の心を鷲づかみにしてしまうような作品を待っています。(宍倉)

物語の構成と、リアルなセリフ運びが素晴らしいです。「嫌いだった級友が自殺した」というショッキングな導入から始まり、「その級友が嫌いだった理由」が非常に生々しく描かれ、衝撃的なラストにつながる。重いテーマを扱っていますが、シンプルで丁寧な絵柄なので、作品の空気感が暗くなっていないのも◎。最後のオチの解釈が難しい点だけが、気になりました。(寺山)

「ともだち」の突然の死を通し、己の自意識を暴けるだけ暴いていく主人公の自罰的な姿勢に他にはない切実さを感じました。彼は死んだ友人を美化できないことに罪を感じているように見えました。ふつうなら感じなかったことにしてしまいそうな一瞬の感情に向き合い、作品としてまとめ上げられることは強みだと思います。(濱那)

奨励賞 ◎10万円＋公式サイト「モアイ」に掲載

30ページ

『years』

二世(にせい)（北海道・29歳）

あらすじ 母に捨てられ、北海道で農家を営む祖母のもとで育った穂摘(ほづみ)。高校へ進学もせず農作業を手伝う彼はある日、祖父の形見のカメラを手に入れる──。

選評

主人公の心情を丁寧に追っていて好感が持てた。表情豊かな人物の表情も印象的だった。特に前半と後半の心情は丹念に描かれていて素晴らしかったが、中盤、引きこもり気味の主人公がカメラにハマった結果、フィリピンに留学するという大胆な行動を起こす心情がよくわからなかったのが残念。カメラの魅力をもっと掘り下げてほしかった。（加藤）

最後に主人公の前向きな変化もあり、読後感も良く瑞々しさを感じる作品だった。しかし、作品の構成上、現在と過去が入り乱れているのと、場所があちこちに飛んでしまうために、非常にわかりづらく感じてしまうところも。次回作では「このシーンが一番描きたい」というのを決めて、そのシーンを見せるためにどういう構成がベストなのかをもっと練ってもらいたい。（上田）

奨励賞 ◎10万円＋公式サイト「モアイ」に掲載

24ページ

『女王(じょおう)の選択(せんたく)』

野田塔子(のだとうこ)（京都府・35歳）

あらすじ 甲斐の悩みは、サラという彼女が優柔不断なところ。服も食べ物もすべて、甲斐に相談しないと決められない。だがある日、その性格の由来を甲斐は垣間見ることになる──!

選評

とにかく印象に残る作品でした!! よくある恋愛モノとみせかけて、あの展開に持っていくワンアイデアの使い方が見事です。読む人を驚かせようという「企み」を強く感じました。清潔感と透明感あるキャラ・絵も非常に惹(ひ)きつけられます。描ける世界観の幅広さを感じさせる作品でしたので、次回作にも期待が高まります。（鈴木）

一番素晴らしかったのは、「読者をビックリさせたい」という思いが作品から伝わってきたことです。何事も決められず他者に二択を迫る女の子と、それにスマートに応える男の子の現代劇……だと思っていたら、とんでもない展開が中盤に待っていて、してやられました。絵柄も綺麗で好感が持てます。物語の中身にもう少し重みが出れば、さらに良い作品になると思います。（寺山）

奨励賞 ◎10万円＋公式サイト「モアイ」に掲載

40ページ

『よっちゃん』

おおたつむる（東京都・26歳）

あらすじ 同級生で幼なじみのよっちゃんは、放っておけない危険人物。そのことを知っているのは私だけだったけど、ついに学園祭準備の日に、よっちゃんが本性を見せた!

選評

構成、演出力、画力とも手慣れたもの。だからこそ、敢えて物言いをつけるとすれば、誰にも感情移入しにくいのがエンタメとしては惜しい部分。男女の幼なじみということから『白夜行』が浮かんでくるが、あちらは主人公たちに翻弄される被害者たちが等身大の人物なので、その役割を担っていた。すごく実力ある方なので期待しています。（田渕）

空想的な設定や過剰な演出に頼ることなく、シンプルな舞台の中で二人の男女の関係をここまでスリリングに見せられることにセンスを感じました。この作品の全体に漂う正体不明の不穏な空気感と、キャラクターの表情の中に潜む張りつめた緊張感は、次々にページをめくらせる力を持っていると思います。（漢那）

期待賞 5万円

『嵐（あらし）、のち』 20ページ

子西（こにし）ちひろ（大阪府・41歳）

あらすじ 玩具メーカーで働く桃山。入社3年目、希望していた開発部門ではなく、クレーム対応の部署に配属されてしまう。不満を抱えながら働く彼は、ひょんなことから、同僚の古江の家に泊まることに──。

■選評■ コマ割りや台詞選びが的確で、とにかく読みやすい作品でした。また登場人物の感情の動き・流れを非常に丁寧に描いており、類似の作品にはないリアリティを感じました。20ページという短さでここまで話を展開できるのは素晴らしい。次回作ではもっと大きな普遍的なテーマに取り組んでくれることを期待します。（鈴木）

期待賞 5万円

『織（お）り職人（しょくにん）のしごと』

小森江莉（こもりえり）（滋賀県・24歳）

38ページ

あらすじ 20歳のフリーター・千坂は、好奇心で応募した西陣織の職人に採用されることに。しかし、そこは厳しい職人の世界。さらにお給料もベラボーに低かった…。この仕事、続けられるのか？

■選評■ 実際に西陣織の現場で働いた経験がある方と知り、なるほどと納得。仕事内容だけでなく、そこで働く人々のキャラクターも生々しい。でも、そういったことよりすごいと思ったのは、狭い世界で経験したことを、作者が悩んで突き詰めたら、人間社会が抱える普遍的な問題にたどり着いたこと。熱さもあるのに大人な感覚が心地良い。（田渕）

期待賞 5万円

『心臓（しんぞう）の無（な）い子（こ）』

mitsuba（京都府・22歳）

37ページ

あらすじ 心臓がない「僕」は、心臓を探す旅に出た。森の奥の魔女や、河原に住むイルカさん……様々な出会いを経て、「僕」は心臓を見つけることことができるのか？

■選評■ 作者の頭の中に豊かなイメージがあることが伝わる作品でした。ただ、まだ雰囲気だけの漫画になっています。伝えたいことがよくわからず、散漫な印象を受けました。次回作では、自身の体験をもとにしたり、身の回りにいる友人をモデルに描いたりすると良いでしょう。（高橋）

期待賞 5万円

『交番女子（こうばんじょし）』

広瀬木南（ひろせこなみ）（鹿児島・32歳）

16ページ

あらすじ 公然わいせつに交通取り締まり…etc. 治安維持の第一線に立つ交番勤務女子二人の警察官あるあるお仕事備忘録！

■選評■ こういう可愛くてエロい女性警官というのは古来より鉄板なファンタジーです（もちろん可愛（かわい）い人もエロい人も、女性警察官にいると思うのですが、我々一般人は触れる機会が少ないという意味で）。そこに妙にリアルな警察ディテールの混ぜ込んだのが絶妙。こういうバランス感覚は生来のもの。テンポも心地良く読者をつかめると思う。（田渕）

期待賞 5万円

『チカくてトオい』

悠木灯（ゆうきとも）（大阪府・27歳）

12ページ

あらすじ かつて祖母とともに幼稚園へ行くために登った坂道。あれから20年。桃は再び祖母とともに坂を登る。過ぎ去った時間を噛（か）み締めるように──。

■選評■ 人物の表情を描くのに、漫画の記号やパターンに頼らず、写実的にリアルな表情を描こうという意欲は感じられたが、ところどころ表情が硬かったのが残念。祖母と孫娘の会話のやりとりはうまいが、ワンシチュエーションで12ページ引っ張られると、さすがに長いと感じてしまった。ただ構成力はあると思うので、次作に大いに期待したい。（加藤）

期待賞 5万円

『バンド・フラッシュ・ザ・サラリマン』

上中翔太（うえなかしょうた）（大阪府・31歳）

47ページ

あらすじ 自信満々で入社した新入社員・田中。しかし、実際はうまくいかない日々が続いていた。何かが足りない──。悩む田中はある日、発見する。自分に足りないのは「媚（こ）びる力」だと！

■選評■ 冒頭のテンションを最後まで維持し、47ページを走り抜けた体力に感銘を受けました。読みながら「この作品を描いた人は一体仕事でなにがあったんだろう」と気になりつつ、プロットと画面構成の力強さに実力を感じました。今後は絵柄を洗練しながら内容に緩急をつけて、より作品を読みやすくする工夫が必要かと思います。（漢那）

期待賞 5万円

『メイドちゃん』

小川原（おがわら）ゆかり（神奈川県・28歳）

28ページ

あらすじ 大富豪の息子・ミカヅキの家でメイドを務めるアンズは、あまりにも働かない主人に業を煮やし、新たなメイドを雇うことに。しかし、やってきたのはなかなかのおっちょこちょいで…？

■選評■ 性格が悪くてダメな男、姉御肌のアンズ、素直な新人メイドのキナコというキャラクターの配置が絶妙でした。この3人の掛け合いだけで、楽しく読めると思います。あとは、このキャラクターたちが生きるにはどの形が一番かを考えるのが良いと思います。また、この世界観に説得力を持たせるためにも、背景をもっと丁寧に描きこむ努力が必要です。（高橋）

今回は豊作につき、特別に受賞者の方より
コメントをいただきました!

佳作『皇帝陛下の蝋人形師』
かやま ゆう氏より

電話で結果を聞いた時びっくりし過ぎてリアルに「腰が抜ける」という体験をしました。
物心ついて以来の「漫画家になる」という夢に近づけて嬉しいです!
漫画でないと描けないもの、漫画の面白さをこれからずっと追い求めて行きたいです。
支えてくれた人に恩返しするためにも頑張ります。

佳作『自殺しちゃったともだち』
堀たまき氏より

自分の描いた漫画をたくさんの人の目に触れる場所に載せて頂けるというのは大変嬉しく贅沢なことだと思っています。機会をもらえたことに感謝します。ありがとうございました。
小さな感情の共有ができるような漫画を目標にしています。人から興味を持って読んでもらえる漫画作りを模索し工夫していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

奨励賞『years』
二世氏より

このたびはこのような賞をいただけてとても嬉しいです。ありがとうございます。今後も人間ドラマを描いていけるよう精進したいと思います。

奨励賞『女王の選択』
野田塔子氏より

賞を戴くことができ、とても嬉しいです。
ありがとうございました！楽しい漫画が描けるよう、がんばります。

奨励賞『よっちゃん』
おおたつむる氏より

選んでいただきありがとうございます。とても苦心してしまったのですが何がまともかは考えず常軌を逸した愛を描きたいと思いました。また精進しますのでよろしくお願いします。

2016年9月 モーニングゼロ MORNING ZERO 佳作受賞

マナーモードだった日常が震え出す。選考会で物議を醸(かも)した問題作。

ヴー

ヴーウー

自殺しちゃったともだち

突然の訃報。洗濯物みたいに飛んでいってしまった、僕の「ともだち」。

信じられないよね…(涙)

2

くっ

ブル

★この漫画はフィクションです。実在の人物,
団体名等とは関係ありません。

カッコ付きの「お悔やみのキモチ」。

画面の向こうの顔が見えない。

■■君というのは
卒業以来会っていない
中学の同級生で

(涙)て

僕はこいつが
嫌いだった

2016年9月 モーニングゼロ 佳作受賞作

自殺しちゃったともだち

堀たまき

じゃあなんで
君に貸したら
僕のセーブ
消えてるんだよ……

「知らねー
わかんねー」

タカノ君？
ガヤ
ガヤ
〈御予約〉
××中○期卒
3年B組
クラス会様

ザワ
ガヤ
ガヤ
タカノ君ってば
え？あ
ごめん 何？
ザワ

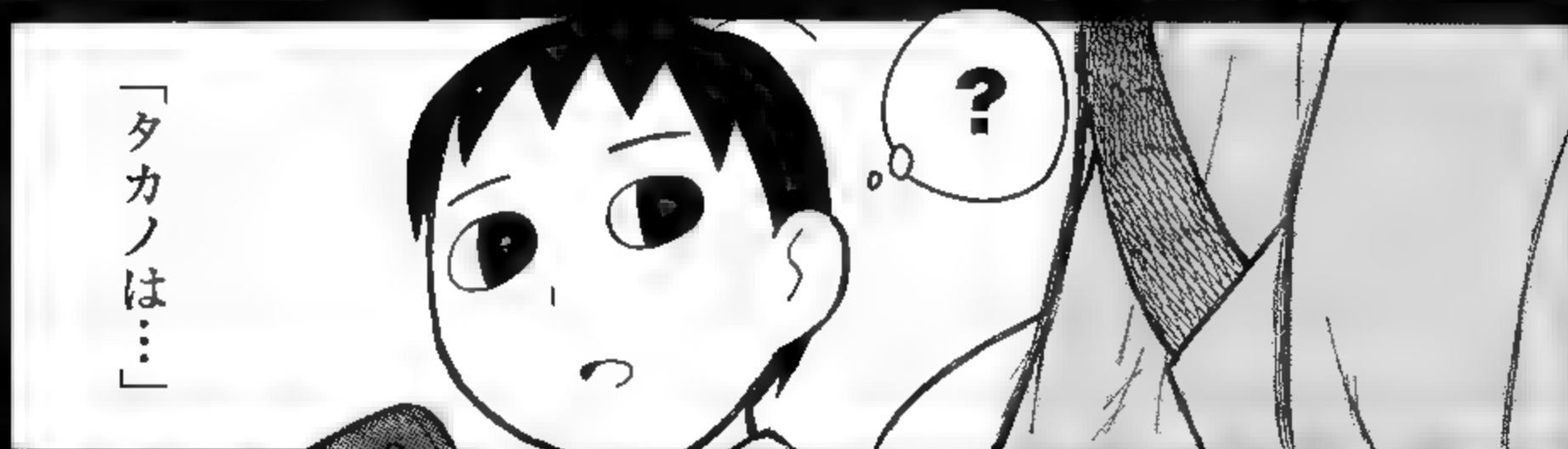
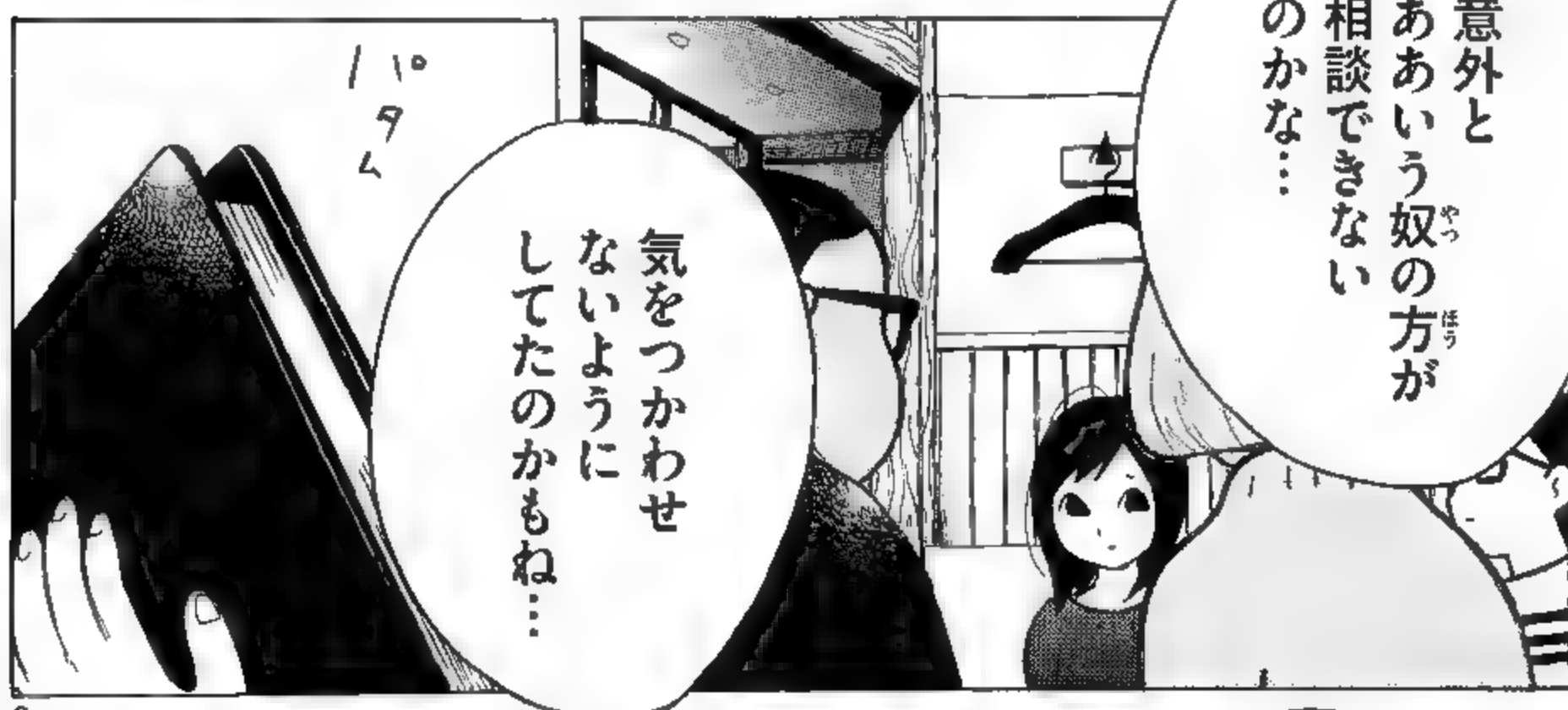
今日 急なのによく来れたねー
仕事地元でしょ？
山口
■■村 ■■

たまたま人を訪ねてこっち出てきてたんだ
死んじゃったんだね
■■■■君…

「アイドルの曲聴く奴だけはありえんわ」
「歌詞が浅すぎるだろ」
「中身がないよね」
「歌も下手だしな」
17:20
「なあありえなくね？」
え!?う…
うん…僕も…苦手…だな

「タカノは…」

「前CD買ってるの見かけたから」

「好きなんだと思ってた」

隠しごととかしなそうだったのにね
まわりの人も全然 気がつかなかったんでしょ？
意外とああいう奴の方が相談できないのかな…
パタム
気をつかわせないようにしてたのかもね…
なかったよ
特別…
良い人でも…
■■君

貸したゲームのセーブ消して謝らなかったし

バカ正直で気をつかうって概念がなかったし

僕の父さんが借金と女作って失踪したことクラスのみんなに言いふらしちゃうし

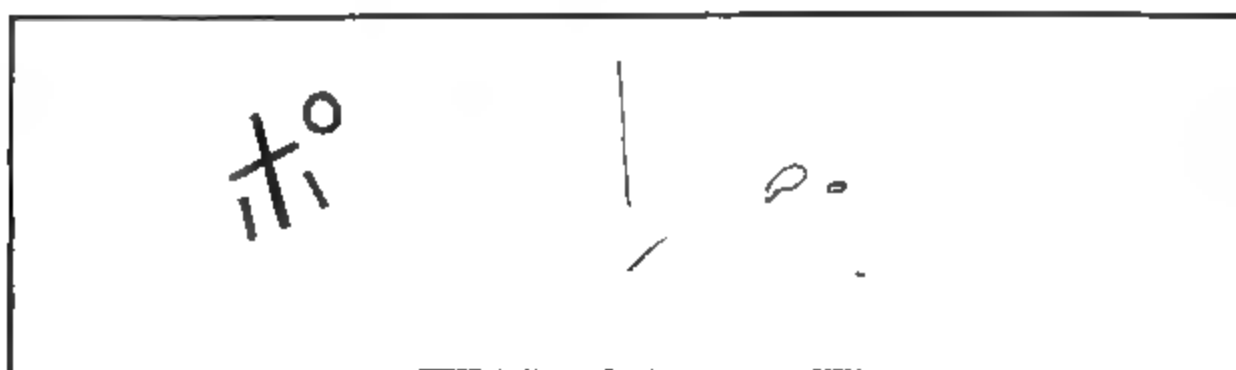
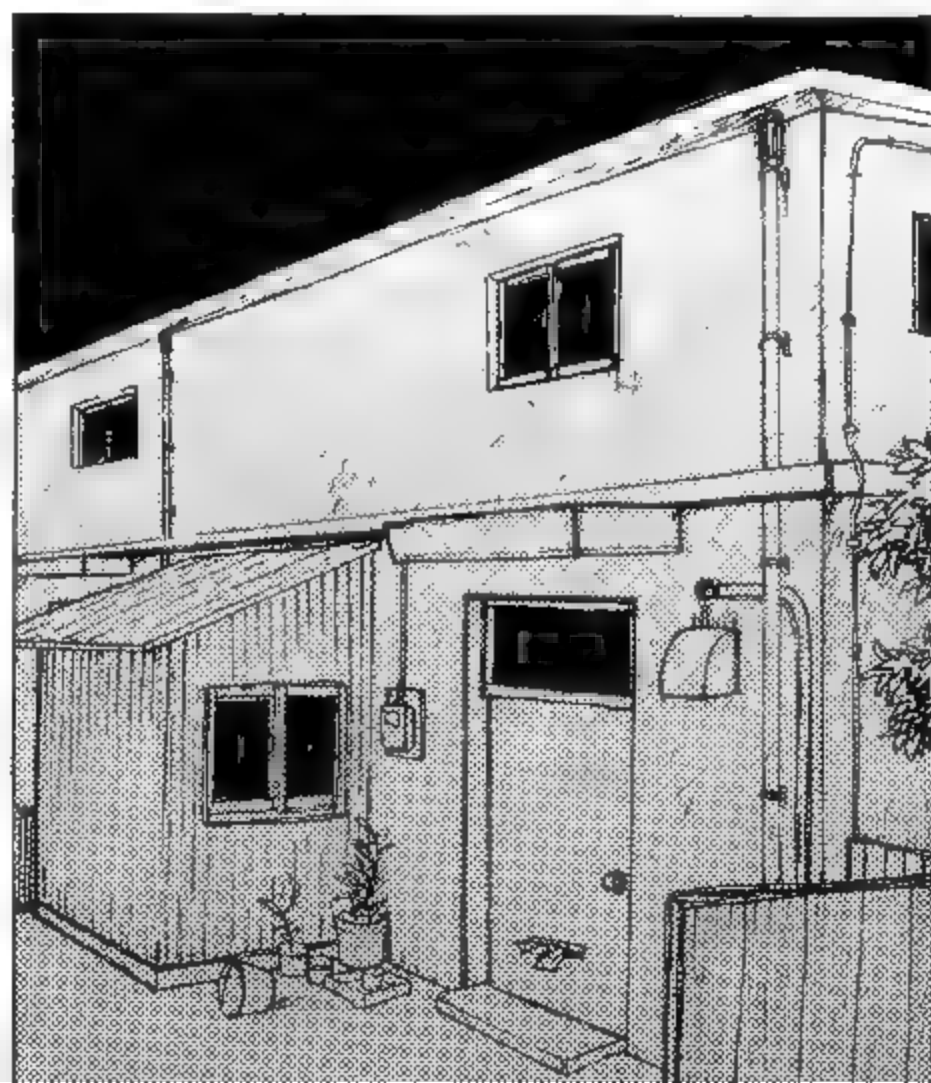
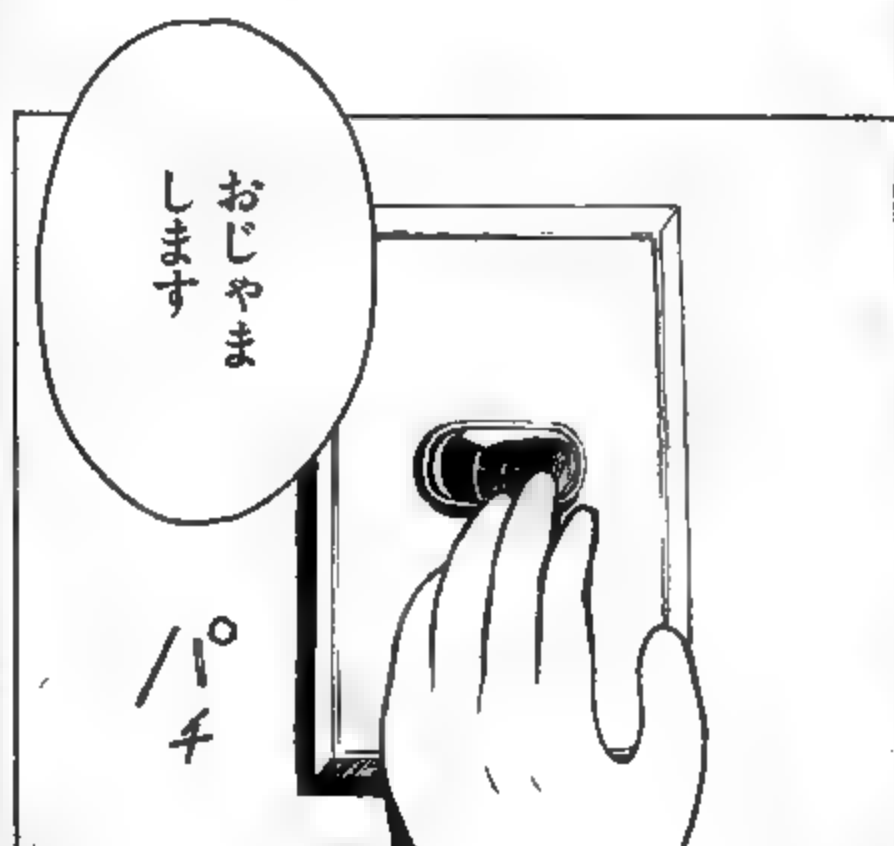
…ああ なんかごめん 死んだ人の悪口言っちゃって

■■君…主人公に
自分の名前つけてる…
僕と同じか…ハハ…

「雑誌についてた
ポスター
お前にやるよ」

あのころは
許せなかったのに

ぐに

死んだら
良い思い出に
昇華するなんて…

自分を嫌いに
なりそうだ

ぐに

「お前の父ちゃん借金つくって女と出ていったってうちの母ちゃんが言ってたけど本当？」
え？ あ うん そうだよ…アハハ
「なんか大変そうだな」
「プリン食う？」
うまい…
どんな気持ちになればいいのかわからなかったよ

ポ

あれ？

うわ うそ

ポタ ポタ

分からないまま泣いたりしていいんだろうか
なんの涙だ
吐くな

みんなごめんね
僕今日ちょっとおかしくて
いいよ
急に呼び出しちゃって悪かったよ

いや
今日来て
よかったよ

本当に

地元帰るの？
まだ寄るとこ
あるから…

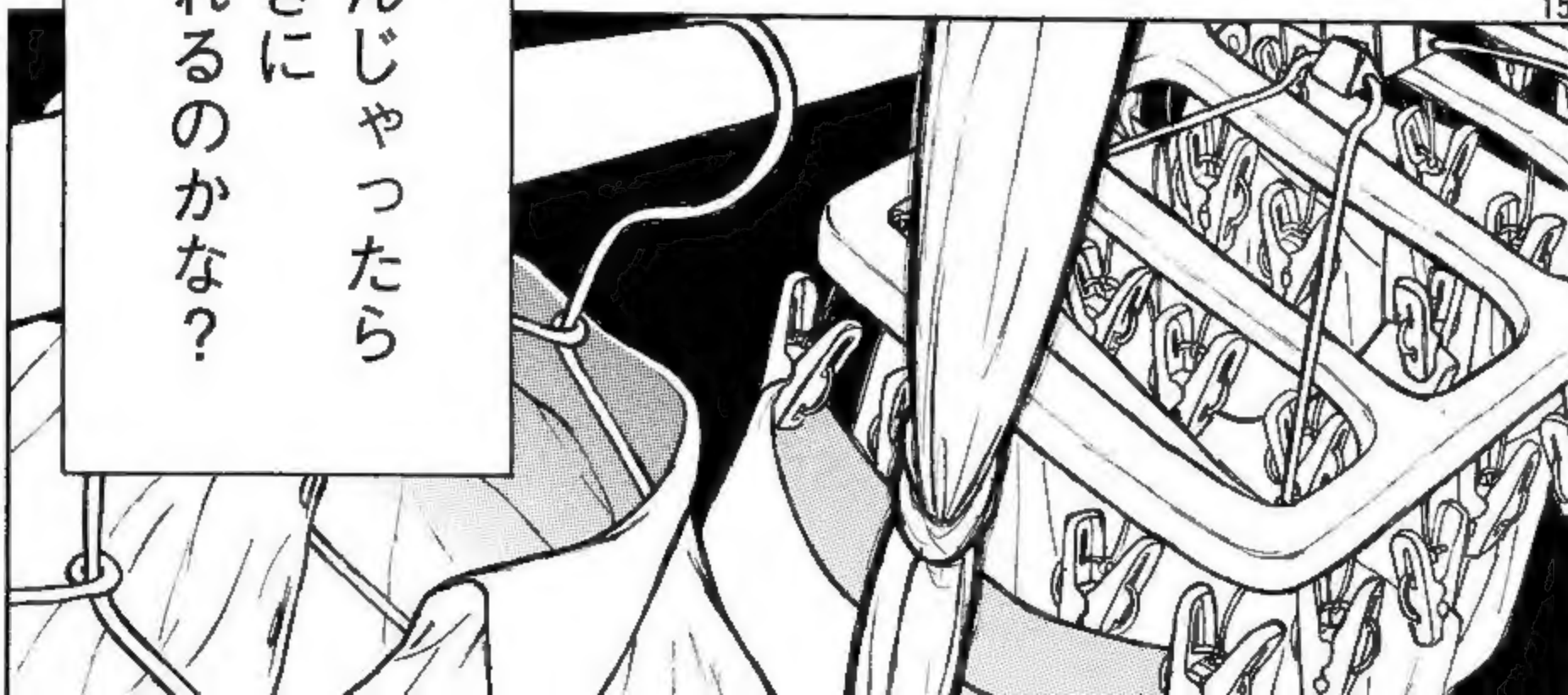
おじゃま
します
パチ

昔 嫌いだった
同級生が

自殺したって
連絡がきたんだよ

絶対悲しくなんか
なれないって
思ってたんだ

でも

●お便り募集●
この作品を読んでのご意見・ご感想をお待ちしております。巻末のアンケート用紙かあるいはハガキか封書でお送り下さい。【宛先……〒112・8001 講談社 モーニング編集部『自殺しちゃったともだち』係】

父さんも

16

今日会えて今までどうしてたのか聞いたら全部ゆるせると思ってたのに

父さんも■■君も
分からないままになっちゃった

それでも
涙は出てきて

……自分の心すらも、なんだか遠くて。

なんの涙かは
やっぱり
分からなかった

【自殺しちゃったともだち／おわり】

●堀たまき氏の次回作にご期待ください●